

開講科目名	卒業研究		
担当教員	応用化学各教員	開講区分	単位数
		通年	10単位

授業のテーマと目標

卒業研究は、応用化学科での学習の総まとめであり、その目的は研究テーマに関連した事前調査、実験計画の立案、得られた実験結果の整理・考察、結論の導出などの研究方法・態度を実習・体験することである。

到達目標：

研究グループ単位の小集団教育の中で、教員による個別指導や学生の自主的勉学を通してテーマ設定や研究の進め方、さらに結果のまとめ方やプレゼンテーション能力を修得する。

授業の概要と計画

3年次までの講義・実験等で勉強してきた既知の学問体系に対する知識を軸として、卒業研究では、最先端の研究に参加することで化学の面白さと同時に苦しさも体験する。研究は研究グループに所属して行い、テーマ設定や研究の進め方については、研究指導者との討論を通して決定される。従って、3年次までとは次元のかなり異なる大学生活となるので、研究グループの選択には真剣に取り組むことが望ましい。研究グループと研究内容は3年次の学年末に「研究グループ案内」として発表する。研究成果は「要旨」と「論文」にまとめ学科に提出する。さらに「要旨」に基づいた「論文発表」を学科内教員の前で行い、研究成果に対する質疑応答も行う。

授業の進め方：

卒業研究の指導には応用化学科全教員が参加し、学生は各研究グループに所属して指導を受ける。所属する研究グループによって、テーマ・研究手法などが異なるが、一般的には、日々の研究を中心に文献講読、研究会、中間発表などが定期的に行われる。具体的な授業計画は、研究グループ個々に提示される。

成績評価方法と基準

所属研究グループにおける研究に取り組む姿勢はもちろんのこと、1) 研究会・セミナーへの出席状況、2) 調査・問題提起能力、3) 計画・実行能力、4) 文章・プレゼンテーション等の表現能力および5) 卒業論文を教職員全員が審査して総合的に評価する。また、卒業論文の審査には、要旨の提出、論文発表、論文提出が不可欠である。なお、得られた研究成果そのものが直接の評価対象ではない。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

卒業研究を申請しようとする学生には別途内規により定めた申請条件(4.履修上の注意参照)を満たしていること。

オフィスアワー・連絡先

特になし。

学生へのメッセージ

特になし。

テキスト

特になし。

参考書・参考資料等

授業中に指示する。